

日本人の河川環境に関する意識アンケート調査（案）

1. 目的

日本人は、川に対してどのような意識をもち、何を望んでいるか確認する。



2. アンケート項目骨子

Q1 あなたが思い浮かべる身近な「川」をこの中から1つ選んでください。

（写真のみ提示）

Q2 あなたが思い浮かべる理想の「川」をこの中から1つ選んでください。

（写真のみ提示）

<p>緑豊かな風景（山間部）</p>  <p>出典：吉村伸一（黒川）</p>	<p>緑豊かな風景（渓流部）</p>  <p>出典：リバーフロント研究所（菊池川）</p>
<p>緑豊かな風景（都市部）</p>  <p>出典：吉村伸一（黒目川）</p>	<p>公園的な風景（都市部）グランド等</p>  <p>出典：京浜河川事務所（多摩川）</p>
<p>護岸が目立つ河川（都市部）</p>  <p>出典：吉村伸一（いたち川）</p>	<p>コンクリート護岸（河口域）</p>  <p>出典：リバーフロント研究所（太田川）</p>
<p>護岸が目立つ河川（田園部）</p>  <p>出典：国土交通省（西川田川）</p>	<p>護岸が目立つ河川（山間部）</p>  <p>出典：リバーフロント研究所</p>

Q3 あなたが川に求めることはなんですか。この中からいくつでもあげてください

気持ちよさ
せせらぎの音
きれいな水
水の流れる水面
風景としての美しさ
開放感
木陰
自然を感じる事
涼しい風
憩い
生き物の豊かさ
その他

Q4 あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。この中からいくつでもあげてください。【参考：河川に関する世論調査、内閣府、平成8年】

水泳・水遊び
釣り
散策
自然観察
野球・テニスなどのスポーツ
カヌーなどの水上スポーツ
キャンプ
祭りや伝統行事
水辺のレストランでの飲食
その他
してみたいことはない
わからない

Q5 あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。【参考：河川に関する世論調査、内閣府、平成8年】

水泳・水遊び
釣り
散策
自然観察
野球・テニスなどのスポーツ
カヌーなどの水上スポーツ
キャンプ

祭りや伝統行事
水辺のレストランでの飲食
その他
したことはない
わからない

Q6 あなたは、河川に特にどのような役割を求めますか。この中からいくつでもあげてください。【参考：河川に関する世論調査、内閣府、平成8年】

自然が存在する場
良好な景観を持つまちの顔
観光・イベントの場
災害の際、避難場所などに利用される場
散策やスポーツなどが行える健康増進の場
流域の住民が美化活動などを通して交流・連携を行う場
その他
わからない

Q7 美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。【参考：まちづくりと水辺空間整備に関する世論調査、内閣府、昭和63年】

汚れた水をきれいにする
少ない水量を豊かに増やす
水辺沿いの緑を増やす
護岸の勾配をゆるやかにし、水辺に近づきやすくする
水辺沿いを気持ちよく歩けるように散策路などを整備する
水辺でのびのびと遊べるように、周辺の公園と一体的に整備するなど広い水辺空間の確保をはかる
背の高いコンクリート壁などのために水が見えない部分を改善し、まちからの眺めをよくする
まちなみに調和するように、景観に配慮する
美しい橋に架けかえる
その他
特にな
わからない

Q8 現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした整備が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。【参考：河川に関する世論調査、内閣府、平成8年】

- これまで既に整備されてきた護岸もつくりかえるべきだ
- 河川環境を考慮した上で、必要な護岸に限ってつくりかえるべきだ
- 護岸の整備には費用がかかるので、これまで既に整備されてきた護岸についてはつくりかえる必要はない
- その他
- わからない

Q9 近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いませんか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。【参考：河川に関する世論調査、内閣府、平成8年】

- 参加したい
- どちらかといえば参加したい
- どちらかといえば参加したくない
- 参加したくない
- わからない

Q10 河川の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。【参考：まちづくりと水辺空間整備に関する世論調査、内閣府、昭和63年】

- 河川の改修・整備は、洪水などによる災害の防止に配慮して行えば充分である
- 河川の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである
- どちらともいえない
- わからない

3. 参考とした世論調査について

「河川に関する世論調査」

(1) 調査対象

- ・母集団 全国 20 歳以上の者
- ・標本数 3、000 人
- ・抽出法 層化 2 段無作為抽出法

(各市町村の調査地点を、無作為に抽出し (第 1 段階の抽出)、次にその調査地点に住所を有する者の中から無作為に調査相手を抽出する (第 2 段階の抽出) 方法)

(2) 調査時期

平成 8 年 9 月 5 日 ~ 9 月 15 日

(3) 回収結果

- ・有効回収数 (率) 2、143 人 (71.4%)
- ・調査不能数 (率) 857 人 (28.6%)

(4) 参考とした質問の回答結果

(質問 1) あなたは、河川や河川敷でどのようなことをしてみたいですか。この中からいくつでもあげてください。

水泳・水遊び	<u>24.8 / 216.0%</u>
釣り	<u>33.3 / 216.0%</u>
散策	<u>41.3 / 216.0%</u>
自然観察	<u>32.9 / 216.0%</u>
野球・テニスなどのスポーツ	<u>12.5 / 216.0%</u>
カヌーなどの水上スポーツ	<u>6.0 / 216.0%</u>
キャンプ	<u>29.2 / 216.0%</u>
祭りや伝統行事	<u>10.9 / 216.0%</u>
水辺のレストランでの飲食	<u>10.5 / 216.0%</u>
その他	<u>0.7 / 216.0%</u>
してみたいことはない	<u>13.3 / 216.0%</u>
わからない	<u>0.6 / 216.0%</u>

(質問2) 今後、あなたの住む地域で地域づくり・まちづくりを進めていく際に、河川は特にどのような役割を果たしていくべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

自然が存在する場	<u>61.0 / 193.0%</u>
良好な景観を持つまちの顔	<u>31.4 / 193.0%</u>
観光・イベントの場	<u>12.1 / 193.0%</u>
災害の際、避難場所などに利用される場	<u>23.2 / 193.0%</u>
散策やスポーツなどが行える健康増進の場	<u>38.5 / 193.0%</u>
流域の住民が美化活動などを通して交流・連携を行う場	<u>20.3 / 193.0%</u>
その他	<u>0.7 / 193.0%</u>
わからない	<u>5.8 / 193.0%</u>

(質問3) 現在、人と自然に優しい構造として、植物や石など自然の素材を活かした治水が行われていますが、あなたは、これまで既に整備されてきた護岸についても、このような人と自然に優しい構造につくりかえていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

これまで既に整備されてきた護岸もつくりかえるべきだ	<u>13.3 / 100%</u>
河川環境を考慮した上で、必要な護岸に限ってつくりかえるべきだ	<u>66.3 / 100%</u>
護岸の整備には費用がかかるので、これまで既に整備されてきた護岸についてはつくりかえる必要はない	<u>17.7 / 100%</u>
その他	<u>0.1 / 100%</u>
わからない	<u>2.6 / 100%</u>

(質問4) 近年、河川流域の美化活動や、「川サミット」といった流域住民による交流・連携活動など、河川に関する様々な活動が行われています。あなたは、今後、このような活動に参加したいと思いますか。思いませんか。この中から1つだけお答えください。

参加したい	<u>12.4 / 100%</u>
どちらかといえば参加したい	<u>35.3 / 100%</u>
どちらかといえば参加したくない	<u>26.2 / 100%</u>
参加したくない	<u>19.2 / 100%</u>
わからない	<u>6.9 / 100%</u>

「まちづくりと水辺空間整備に関する世論調査」

(1)調査対象

- ・母集団 全国20歳以上の者
- ・標本数 5、000人
- ・抽出方法 層化2段無作為抽出法

(2)調査時期

昭和63年6月30日～昭和63年7月10日

(3)回収結果

- ・有効回収数(率) 3、817人(76.3%) 右表
- ・調査不能数(率) 1、183人(23.7%)

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率
男 20～29歳	329	198	60.2%	女 20～29歳	379	269	71.0%
男 30～39歳	533	384	72.0%	女 30～39歳	598	495	82.8%
男 40～49歳	572	399	69.8%	女 40～49歳	566	451	79.7%
男 50～59歳	514	386	75.1%	女 50～59歳	470	374	79.6%
男 60～69歳	350	286	81.7%	女 60～69歳	321	272	84.7%
男 70歳以上	202	170	84.2%	女 70歳以上	166	133	80.1%
計	2,500	1,823	72.9%	計	2,500	1,994	79.8%

(4)参考とした質問の回答結果

(質問1)美しく潤いのある水辺づくりのためにあなたが国や地方公共団体に期待することは何ですか。この中から3つまでお答えください。

汚れた水をきれいにする	<u>68.7 / 246.3%</u>
少ない水量を豊かに増やす	<u>15.5 / 246.3%</u>
水辺沿いの緑を増やす	<u>36.8 / 246.3%</u>
護岸の勾配をゆるやかにし、水辺に近づきやすくする	<u>12.2 / 246.3%</u>
水辺沿いを気持ちよく歩けるように散策路などを整備する	<u>36.7 / 246.3%</u>
水辺でのびのびと遊べるように、周辺の公園と一体的に整備するなど広い水辺空間の確保をはかる	<u>37.4 / 246.3%</u>
背の高いコンクリート壁などのために水が見えない部分を改善し、まちからの眺めをよくする	<u>5.6 / 246.3%</u>
まちなみに調和するように、景観に配慮する	<u>22.3 / 246.3%</u>
美しい橋に架けかえる	<u>4.7 / 246.3%</u>
その他	<u>0.8 / 246.3%</u>
特にない	<u>3.5 / 246.3%</u>
わからない	<u>2.3 / 246.3%</u>

(質問2)河川や海岸の改修や整備について、次のうちあなたのお考えに近いものはどちらですか。

河川や海岸の改修・整備は、洪水などによる災害の防止に配慮して行えば充分である	<u>24.7 / 100%</u>
河川や海岸の改修・整備は、そのために要する費用が増えたとしても、水辺の美しさ・潤いといったことにも配慮して行うべきである	<u>62.3 / 100%</u>
どちらとも言えない	<u>7.5 / 100%</u>
わからない	<u>5.5 / 100%</u>